



窒息・誤飲による事故の事例



●餅を食べていたら・・・

餅を食べている際に、喉に詰まらせて意識を失った。
(80代 重篤)

●おにぎりを食べていたら・・・

食事中に、おにぎりを喉に詰まらせて倒れ、反応がなくなった。(70代 重篤)

●薬を飲もうとして・・・

テレビを見ながら薬を服用したところ、誤って薬と一緒に薬包を飲んでしまった。(70代 中等症)

事故防止の心得

- 小さく切ってよく噛んでから飲み込みましょう。
- 飲み物などを飲みながら食事をしましょう。
- 万が一に備え、応急手当の方法をよく理解しておきましょう。

安全・安心情報など様々な情報を掲載しています

東京消防庁ホームページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁 Twitter
@Tokyo_Fire_D

東京消防庁 Facebook

病院？ 救急車？ 迷ったら…

#7119

東京消防庁救急相談センター

☎ 電話で相談
東京消防庁救急相談センター

🌐 ネットでガイド
東京都救急受診ガイド

こちらからもつながります

23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

STOP! 高齢者の事故シリーズ ③

高齢者の事故を減らそう

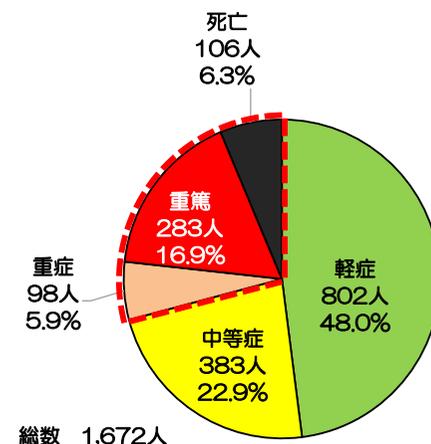
STOP! 高齢者の「窒息・誤飲」

東京消防庁

! 窒息・誤飲は重症度が高い事故の1つです。

令和元年中は、食物などをのどに詰まらせたり、薬の包み紙などを誤って飲み込んでしまうことにより、**1,672人**の高齢者が救急搬送されています。

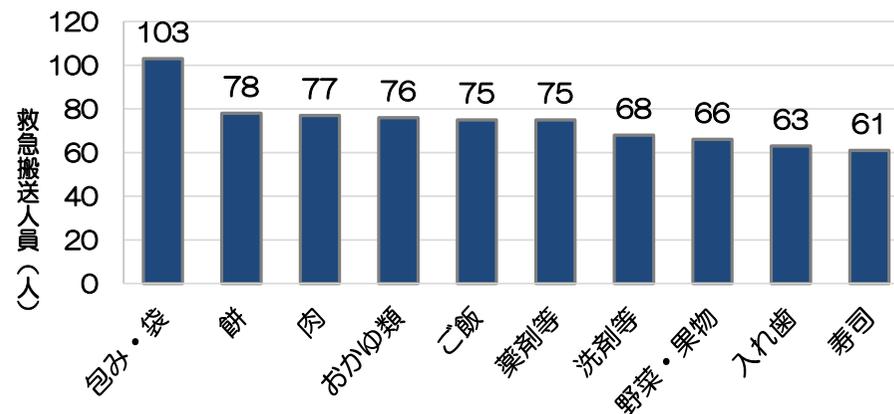
症状程度別救急搬送人員



3割近くが生命の危険が高いとされる重症以上

「窒息・誤飲」原因上位10製品

食品や包み・袋などさまざまなものが原因となっています



【お問合せ先】

東京消防庁防災部防災安全課 ☎ 03-3212-2111 (代表) FAX 03-3213-1478

餅による窒息事故に注意！

！ 1月に多く発生しています。

平成27年から令和元年の間に、餅（団子なども含む）による窒息事故により、**463人**が救急搬送されています。



月別救急搬送人員



餅などは小さく切って食べやすい大きさにし、ゆっくりと噛んでから飲み込みましょう！

・データは、東京消防庁管内*で救急搬送されたもの。

(平成27年～令和元年中のデータを使用)

※ 東京都のうち、稲城市、島しょ地区を除く地域

もしものときの応急手当



のどに物が詰まった！ときは



【チョークサイン】

窒息を起こし、呼吸ができなくなったことを他の人に知らせる世界共通のサイン

● 呼びかけに反応がある場合

咳をすることが可能であれば、できる限り咳をさせます。咳もできずに窒息しているときは、**背部叩打法**（はいぶこうだほう）を行いましょう。



【背部叩打法の実施手順】

- ① 胸と下あごを支えて突き出し、あごを反らせます。傷病者が倒れている場合は、傷病者を手前に引き起こして横向きに寝かせ、自分の足で傷病者を支えます。片手で傷病者の下顎を支えます。
- ② もう片方の手のひらの付け根で、傷病者の肩甲骨と肩甲骨の間を強く4～5回、迅速に叩きます。
- ③ 回数にとらわれず、異物が取れるか、反応がなくなるまで続けます。

呼びかけに反応がない場合は、ただちに心肺蘇生を